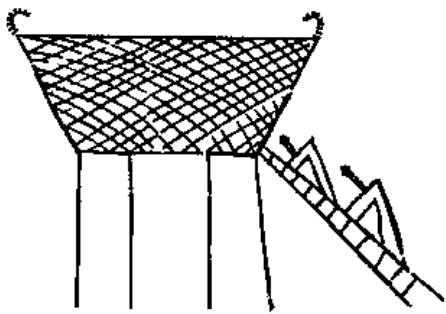
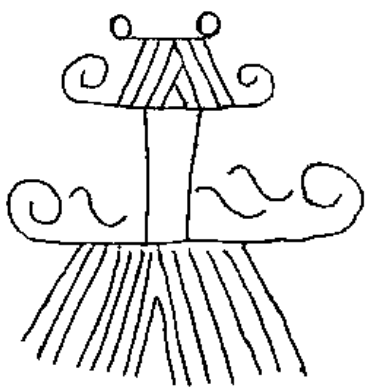


絵画がえがかれた^{ヨヨイ}弥生土器をさがしてみよう！（第1展示室）



左の絵画にえがかれた建物を何といいますか？

この建物は何に用いられたのでしょうか？



左の絵画は何をえがいたものでしょうか？

この絵画がえがかれた土器は、奈良県の何という遺跡で見つかりましたか？

す え き は じ き

須恵器と土師器（第2展示室・第3展示室） 須恵器と土師器とを比べてみよう！

須恵器

- （ ）色のものが多い。
- それまでの土器よりも（ ）、水もれしにくい。
- 作り方は（ ）半島から来た（ ）によって伝えられた。



土師器

- （ ）色のものが多い。
- （ 縄文 ・ 弥生 ）土器ににている。（←どちらかを○で囲もう）

☆土器についてもっと知りたい人は「映像（ビデオ）ライブラリー」にも行ってみよう！

「分野」 → 「古代の技術」 → 「古代の土器」の順番に画面にタッチ

石器について調べよう

石器について、次の問題に挑戦しよう！

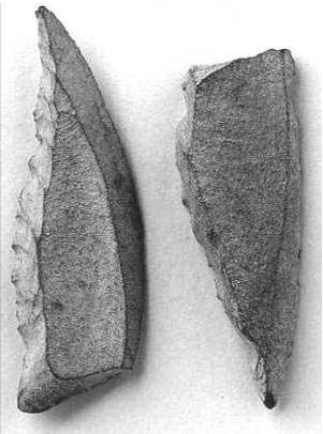
問題1 人類のおこりから300万以上続いた、打製石器を使って採集や狩りを行っていた時代を何時代と言いますか？

問題2 奈良県で発見された石器で一番古いものは、今から何年ぐらい前のものだと考えられていますか？


問題3 かたくて、するどい割れ方をするので、石器の原石として利用された、香芝市の二上山でとれる石を何と言いますか？

問題4 石では作れない「釣針」などは、何で作ったのでしょうか？

次の石器を「第1展示室」の中でさがして、見つけたものには○を書きましょう。



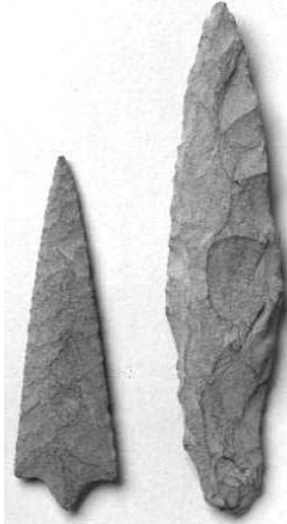
ナイフ^{かた}形石器



石^{くわ}鎌


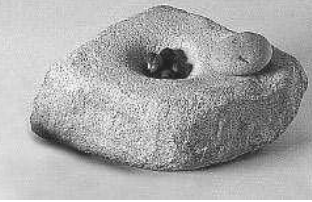




石^{おの}斧



石^{やじり}頭器

次の石器はそれぞれ何に使ったのか、どのように使ったのかを考えてみよう。

石 器	何に使ったのか・どのように使ったのか
<p>せき ぞく 石 鎌</p> 	
<p>いしざら 石皿と すいし 磨石</p> 	<p>[ヒント] 石皿の真ん中のくぼんだところに何がある？</p>
<p>ぎよぶつ 御物石器</p> 	<p>※実は、この石器は学者にとってもまだ10%の道具です。 みなさんで自由に考えてみて下さい。</p>
<p>いしほうちょう 石包丁</p> 	<p>[ヒント] 2つの穴(あな)に、ひもを通して使いました。</p>

発 展

現在でも使っている「石で作った道具」にはどんなものがあるでしょうか？

☆石器についてもっと知りたい人は「映像 (ビデオ) ライブラリー」にも行ってみよう！

「時代」 → 「^{きゅう}旧石器・^{じょうもん}縄文・^{やよい}弥生時代」 → 「石器時代の^{やまと}大和」の順番に画面にタッチ

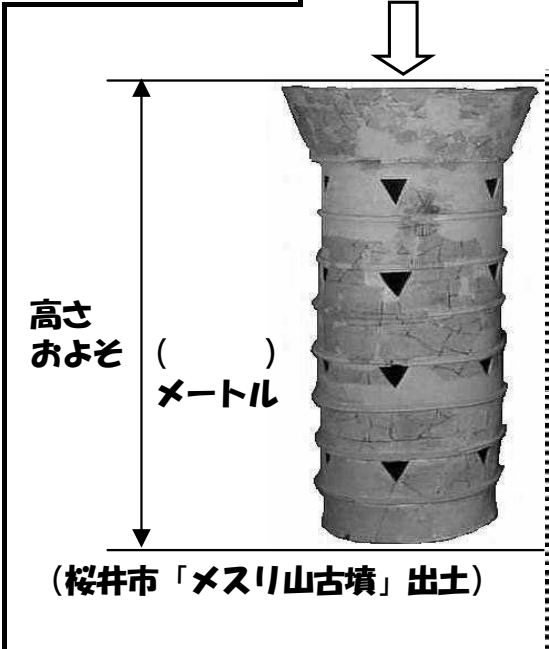
はにわ 「埴輪」について調べよう

「埴輪」は、粘土を焼いて作った土器で、古墳の上にならべられました。「埴輪」には大きく分けて、円い筒のような形をしたもの（円筒埴輪）と、人間・動物・家・さまざまな道具などの形をしたもの（形象埴輪）の2種類があります。

えんとう 円筒はにわ

この博物館にある
日本最大の「円筒はにわ」

今からおよそ1600年前
のものです



「円筒はにわ」の役割は何だろう？

どうしてこんな大きなものを作ったのだろう？

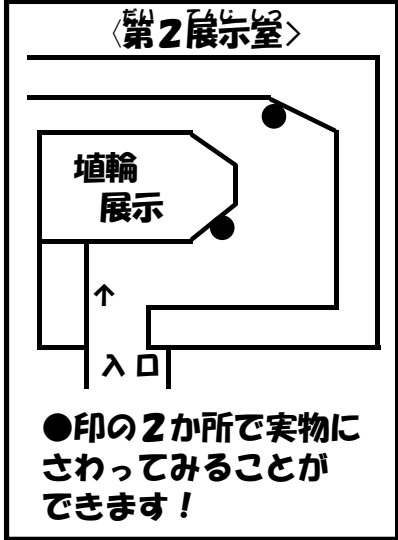
高さ
およそ
()
メートル

(桜井市「メスリ山古墳」出土)

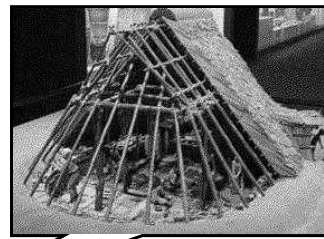
「円筒埴輪」にさわってみよう！

あなたがさわったのは、およそ1500年前の「円筒埴輪」の破片です。さわってみた感想を書きましょう。

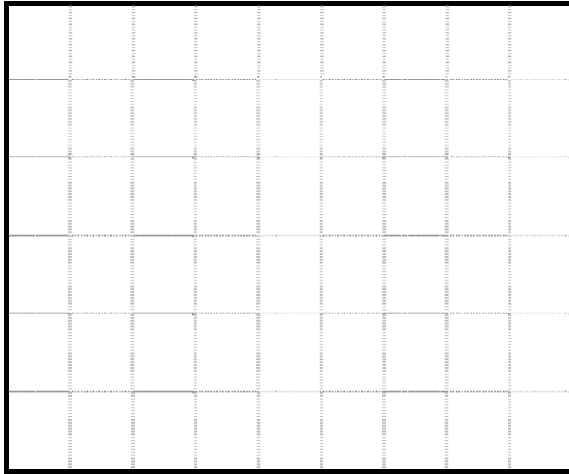
.....
.....
.....
.....
.....
.....



けいしょう
形象埴輪

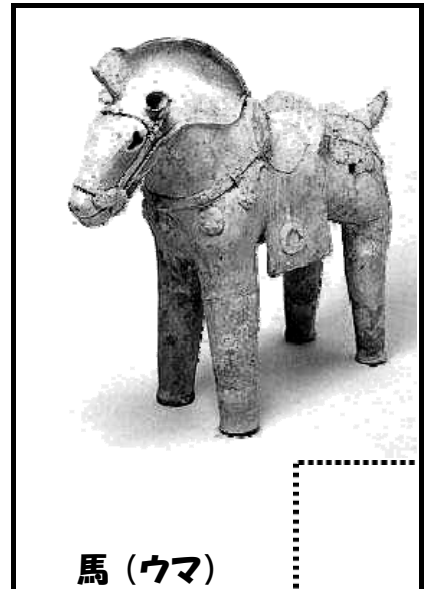
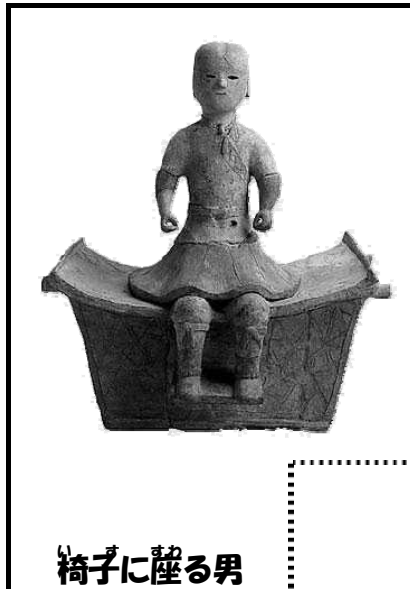
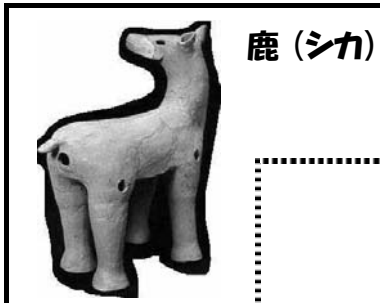


「^{いえがた}家形埴輪」をひとつ選んで、スケッチしてみよう。



「^{くわ}竪穴住居」と比べて、どんなところが違っていますか？

次の「形象埴輪」を「第2展示室」で探して、見つけたものには○を書きましょう。



さまざまな「形象埴輪」からわかる、当時のようすをまとめてみよう！

.....

.....

.....

.....

☆「埴輪」についてもっと知りたい人は「映像 (ビデオ) ライブラリー」にも行ってみよう！

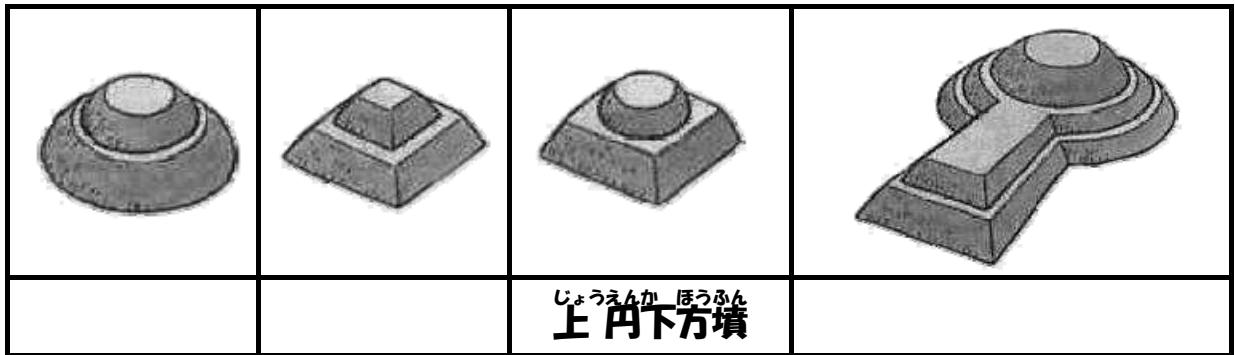
「時代」 → 「^{こも}古墳時代」 → 「はにわの動物たち」の順番に画面にタッチ

「古墳」について調べよう

「古墳」は、3世紀の初めごろから、各地の王や豪族をほうむるためにつくられた墓です。ほとんどの古墳は、土をもったりしてつくった小山のような「墳丘」をもち、当時の王や豪族は、大きな「古墳」をつくることによって力の大きさを示したと考えられています。

古墳の種類

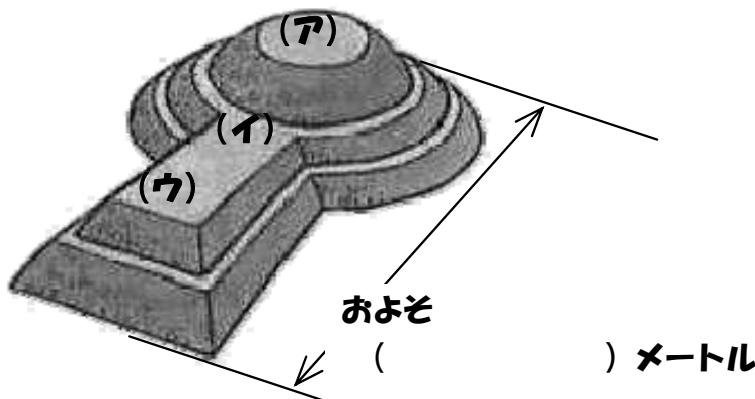
古墳は、「墳丘」の形によってさまざまな種類があります。次の古墳はそれぞれ何とよばれているのでしょうか？



「中山大塚古墳」(奈良県天理市)の模型を見て、答えよう

王や豪族は古墳のどこにほうむられるのが普通だったのでしょうか？

(記号で答えましょう)

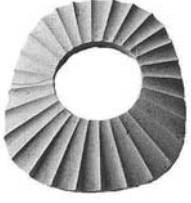


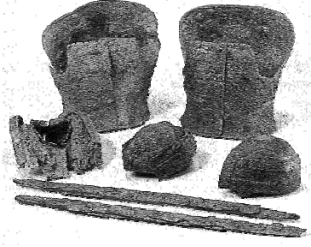


王や豪族がほうむられている部屋は何でつくられていますか？

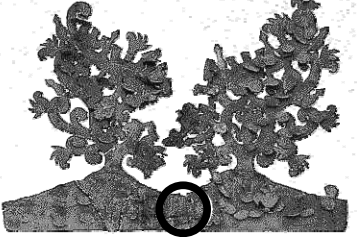

古墳におさめられたもの

古墳の石室や棺には、さまざまな品物がおさめられました。その品物から、王や豪族の力の強さや大陸とのつながりもわかります。

① 次のものを「第2展示室」で探し出して、それぞれの問題に答えよう。

<p>しゃりんせき 車輪石</p>  <p>これは何でしょう？ 〔 〕</p>	<p>めいしょう 名称は？〔 〕</p>  <p>これは何でしょう？ 〔 〕</p>
<p>どうきょう ないこう かもんきょう 銅鏡 (内行花文鏡)</p>  <p>古墳によっては30枚以上の鏡がうめられていました。なぜ鏡を古墳におさめたと思いますか？ 〔 〕</p>	<p>かっちゅう 甲冑と刀</p>  <p>何で作られていますか？ 〔 〕</p>

② 「藤ノ木古墳」 (斑鳩町) におさめられていたものを観察してみよう。

 <p>こんどうせい 金銅製 ()</p>	 <p>() 金具 (後輪)</p>	 <p>こんどうせい 金銅製 () ふくげんひん ※復元品が正面入り口にあるよ</p>
<p>○ の部分には、それぞれ動物がデザインされています。何がいますか？</p>		
<p>〔 〕</p>	<p>〔 〕</p>	<p>〔 〕</p>

☆ 古墳についてもっと知りたい人は「映像 (ビデオ) ライブラリー」にも行ってみよう!

「時代」 → 「古墳時代」 → 「古墳の形態」の順番に画面にタッチ

「分野」 → 「服装とアクセサリ」 → 「玉はよみがえる」の順番に画面にタッチ

「発掘調査」 → 「古墳時代」 → 「藤ノ木古墳の開棺調査速報」の順番に画面にタッチ

あすかきょうせき
「飛鳥京跡」 について調べよう

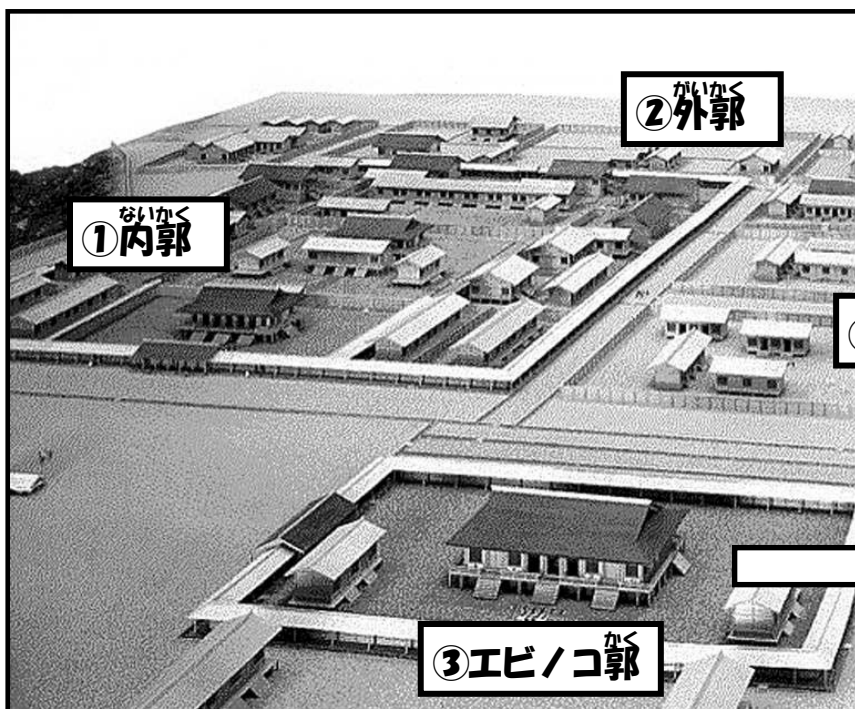
飛鳥は香久山（香具山）の南、飛鳥川東岸の東西0.5km、南北1.0kmというせまい地域です。「日本書紀」によると、592年に推古天皇が飛鳥（豊浦宮）で位につき、それからおよそ100年間にわたって宮都（天皇の住まい、政治の中心）は、ほぼこの飛鳥におかれ、天皇を中心とした国づくりが進められました。

次の航空写真は、飛鳥の地を南東上空から撮影したものです。

- ① 「飛鳥京跡」の位置を □ で囲みましょう。
- ② () に山・寺院・古墳の名前を書きこみましょう。



第3展示室にある「飛鳥の宮」の模型は、673年に位についた天武天皇の「飛鳥浄御原宮」という宮殿を、これまでの発掘調査の結果をもとに復元したものです。



※「郭」とは、壁などで囲まれた場所のことです。



それぞれの「郭」を①～③の番号で答えましょう

- 天皇が公的な儀式を行う→ ()
- 天皇が暮らしている→ ()
- 役所の建物が並んでいる→ ()

【ヒント】
タッチパネル⑥
「模型を見る」で調べてみよう

模型をよく見て、気がついたことをまとめよう

☆飛鳥京跡についてもっと知りたい人は「映像 (ビデオ) ライブラリー」にも行ってみよう!

「分野」→「すまい・都市」→「宮と京 (1)」の順番に画面にタッチ

「時代」→「飛鳥時代」→「復元・飛鳥の宮」か「復元・エビ/コ郭」の順番に画面にタッチ

「分野」→「すまい・都市」→「飛鳥の宮復元制信録」か「エビ/コ大殿復元制信録」の順番に画面にタッチ

もっかん
「木簡」から貴族や役人の生活を調べよう

墨で書かれた木の切れはしのことを「木簡」といいます。奈良時代のころまでは、紙は貴重品でしたので、このように木の切れはしが紙の代用品として使われており、私たちに当時のようすを伝えてくれています。

(1) 左大臣（現在の総理大臣にあたる地位）だった長屋王の家のあとから発掘された「木簡」から、長屋王が食べていたものを調べてみましょう。

(2) 右の「木簡」は平城京「右京」に暮らしていた高屋連家麻呂という下級役人（「少初位下」というのは役人の中で最も下の位です）の6年間の働きぶりについて書かれた記録です。

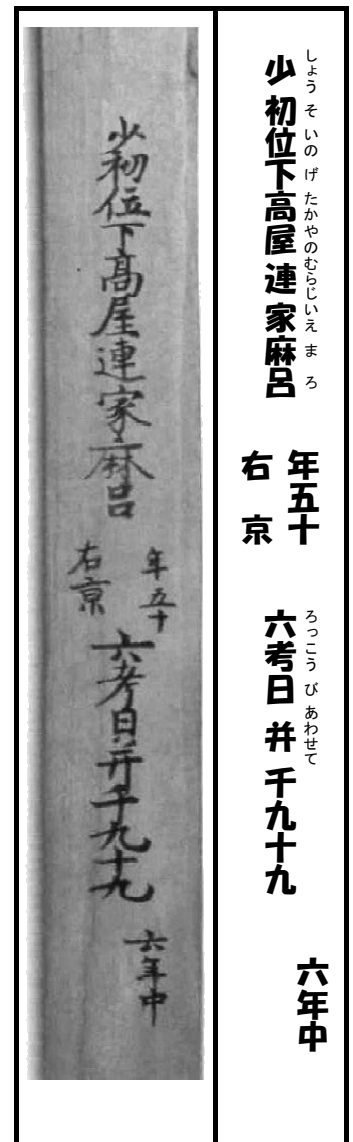
◇この「木簡」を見つけましたか？（はい・いいえ）

◇家麻呂は何歳ですか？ _____ 歳

◇家麻呂は6年間で何日働きましたか？ _____ 日

◇家麻呂は1年平均では何日働きましたか？ _____ 日

◇家麻呂の仕事ぶりはどのように評価されていますか？



少初位下高屋連家麻呂

右京 年五十

六考日并千九十九

六年中

(3) 都の役人は、筆や小刀を使って紙や「木簡」に記録をつけていたことから、「刀筆の吏」とも呼ばれていました。小刀は何のために必要だったと思いますか？